令和６年

兵庫県

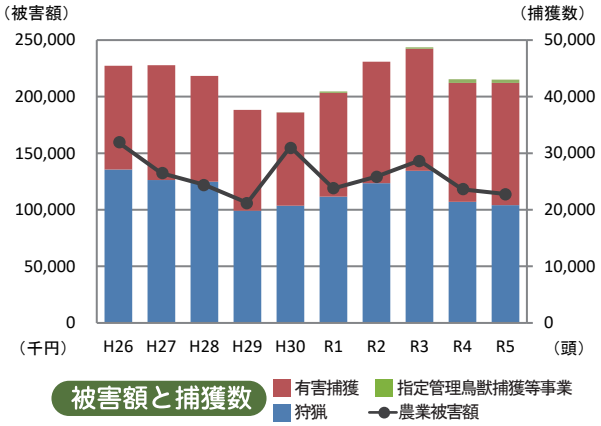
鳥獣害アンケート結果報告

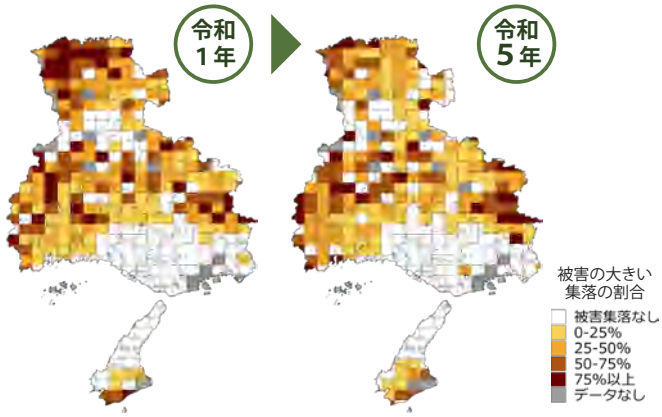
毎年「鳥獣害アンケート」にご協力いただき、ありがとうございます。調査結果は、県の被害対策を検討するための基礎資料として、活用させていただいています。

被害の動向

ニホンジカ

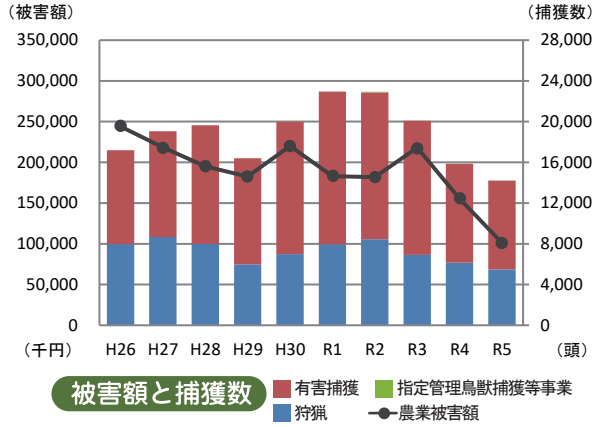
平成 25 年度以降、年間おおよそ 4 万頭の捕獲を維持しています。
対策が進んだ地域では被害が減少しています。

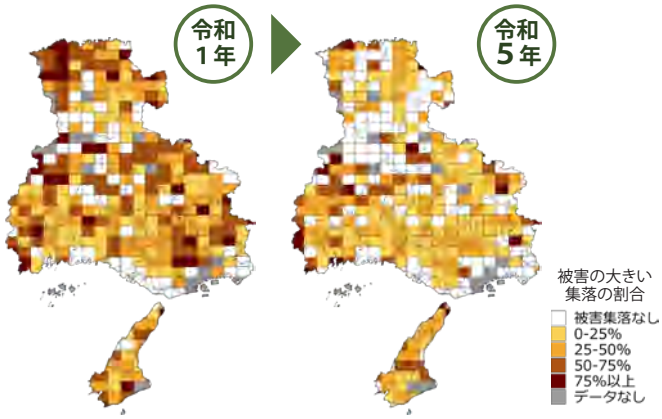




イノシシ

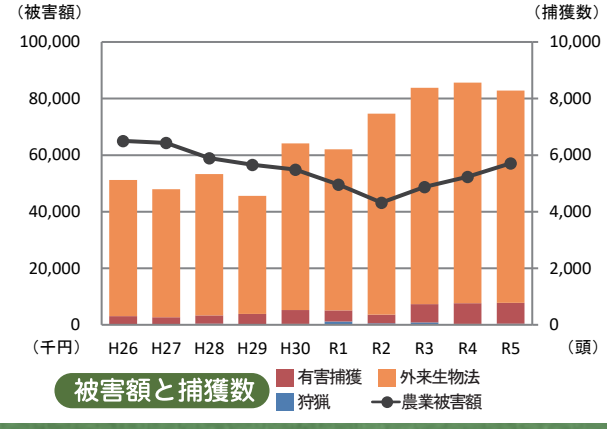
広域で被害がみられますが、対策の進んでいる地域では被害が減少しています。

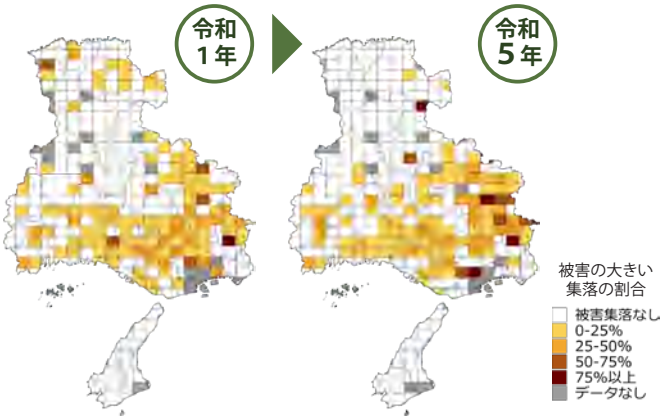




アライグマ

令和 2 年度以降捕獲数・被害額は増加傾向です。
兵庫県南部で被害が続いています。





獣害対策の基本的な考え方

獣害対策に特効薬はありません。総合的に対策を行い、集落を野生動物にとって居心地が悪く、餌が少ない場所にすることが、獣害対策の基本となります。
兵庫県では、市町と連携し、集落ぐるみによる獣害対策を支援しています。

食べさせない

1. 誘引物の除去（集落の餌資源を無くす）
2. 柵で囲う（侵入させない）

集落ぐるみによる獣害対策のススメ

居心地を悪くする

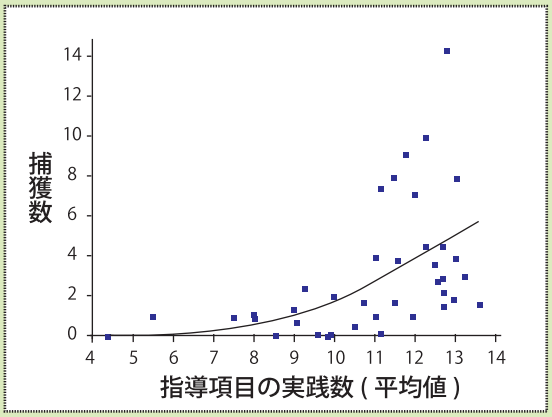
3. 環境改善（潜み場、林縁部の見通し改善）
4. 追い払う（人に対する警戒心を高める）

捕獲する

5. 有害捕獲（出没する加害個体を捕獲する）

「獣害に強い集落づくり」に取り組みませんか？

兵庫県では、集落ぐるみで行う防護柵等の管理やシカ、イノシシ、アライグマの捕獲活動に対して、現地アドバイザーを派遣して技術支援を行う「鳥獣被害集落自立サポート（対策の実践支援）事業」を実施しています。



効果的な方法により捕獲数 UP↑

取組を進め笑顔あふれる集落に

詳細は、最寄りの市町又は県民局・県民センター（農林（水産）振興事務所等）にお問い合わせください。

兵庫県
森林動物研究センター
Wildlife Management Research Center, Hyogo

〒669-3842　丹波市青垣町沢野 940
TEL：0795-80-5500　FAX：0795-80-5506
HP：http://www.wmi-hyogo.jp/

06 環Ⓟ2-002 A4